

様式3 【物・文化財・風景など実態のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開の可否 (可 否)

| | | | |
|-----------|---|-------------------|-----------------|
| 区 分 | 1.森づくり 4.森と暮らし | 2.森の恵み 5.森の文化財 | 3.森と技 6.森の風景 |
| 分野 (ふりがな) | (分野) 木工 | | (ふりがな) もっこう |
| 地域独特の呼び方 | — | | |
| タイトル | シャクシブチ | | |
| 伝承地域 | 南会津郡南会津町(田島地区) | | |
| 由来 (年代) | <p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>シャクシを作ることをシャクシブチといい、職人の呼称としても通用していた。</p> <p>南会津郡と境を接する栃木県塩谷郡栗山村が古くからシャクシブチが盛んであったことから、この地から田島町にも多数の職人が入り仕事を行っていた。また、桧枝岐村も豊富な資材を背景にシャクシの主要な産地であった。</p> | | |
| 内容 | <p>(内容とともに、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合はレシピなども)</p> <p>明治末期、栃木県栗山村の職人が中荒井地区入り、地区の山を買い取りシャクシブチをはじめた。その後栗生沢地区に移り地元で定着する者もいた。栗生沢地区におけるシャクシブチは栗山村の職人にならって本格化したといわれる。</p> <p>シャクシブチの工程は複雑であり作り方も難しかった。</p> <p>伐採した丸太をシャクシの長さにタマガリし、割りナタで木の目に沿ってシャクシ1本分の厚さに小割する。柄になる部分と不要な部分に挽き割りをしてシャクシの原型となるアラ型を作る。</p> <p>外形を整えてからお湯でゆで上げ木質を柔らかくし、エグリセンで玉の部分掘り抜く。これをナカッポリという。エグリセンは刃の中央部分がU字型に湾曲し刃の両側に柄がつく特殊な形をした道具である。ナカッポリの後、角を落として仕上げる。</p> | | |
| 大きさ・材質 | (大きさ・緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの。) | | (材質) |
| 見頃 | (緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) | | |
| 交通アクセス | | | |
| 文化財等の指定状況 | | | |
| 問い合わせ先 | (出典)『田島町史 第4巻 民俗編』 南会津町教育委員会 | | |

【フリーフォーマット】※表面に記載した内容に関連したことを自由に記入してください。

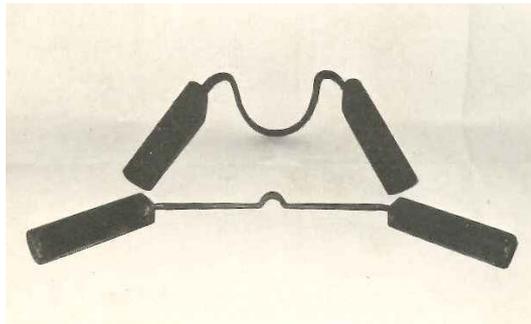
キーワード

シャクシブチ(エグリセンを使用しているところ)



(南会津町教育委員会)

エグリセン

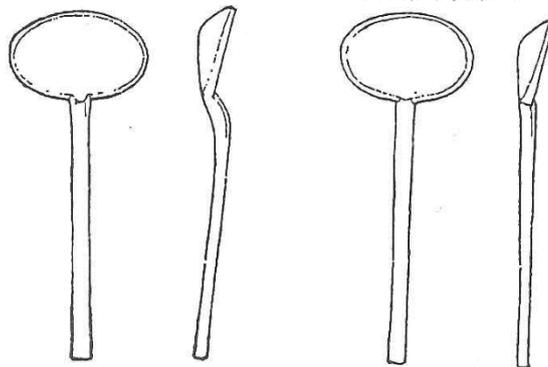


エグリセン(上)

ケズリセン(下)

(南会津町教育委員会)

シャクシの形(完成品)



オイランシャクシ

ヒラシャクシ

※活動の様子が分かる資料等があればコピーを1部ご恵与ください。